

変

特別パネル展示

ありゆく郷土

写真で見るとっとり1968-2013

2015

2/21_[土] ▶ 3/22_[日]

会期中無休

【開館時間】午前9時～午後5時（入館は閉館の30分前まで）

【入場料】一般180円（団体150円）

※通常の常設展示料金で観覧できます。

◎次の方々は無料です

大学生以下、70歳以上の方、学校教育活動での引率者、障がいのある方・要介護者等及びその介護者、企画展観覧者

【会場】鳥取県立博物館 第2特別展示室

【主催】鳥取県立博物館



鳥取県立博物館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM



変わりゆく郷土

特別パネル展示

鳥取県立博物館と県内各市町村教育委員会では、昭和43(1968)年から5年ごとに「郷土視覚定点資料収集事業」を共同で実施し、県内各地を継続的に写真撮影しています。

本パネル展「変わりゆく郷土 写真で見るとっとり1968-2013」は、この事業の成果を広く県民の皆さまに知っていただくとともに、撮影した航空写真と地上写真で、過去45年間の鳥取県の歩みを振り返るものです。

私たちの郷土は、この45年間に大きく姿を変え、同一地点を撮影した写真からは、道路や港湾が整備され、住宅団地や工業団地が出来て市街地が拡大し、農村でもほ場整備が進む一方で、過疎化等により空家や空地、休耕田が増え、都市近郊には大規模店舗が立地して、中心商店街活性化への模索が続くなど、変わりゆく郷土の姿を読み取ることができます。

過去45年間の写真を見比べながら、地域が変わっていく様子をあらためて知っていただくとともに、郷土に対する理解を一層深め、今後の鳥取県のあり方を考える機会となれば幸いです。

◆展示内容

①パネル展示

昭和43年から5年ごとに撮影した県内各地の航空定点写真(約30地点)と地上定点写真(約40地点)の写真パネルを展示し、地域の変化を紹介します。

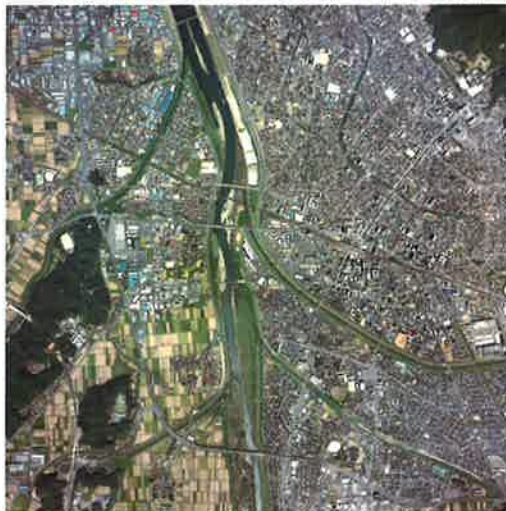
②40年間の鳥取の海岸線の変化を比べてみよう

③実体鏡で見てみよう(航空写真を立体視します)

④懐かしのおもちゃで遊ぼう

表紙写真：法城寺根上り運理松(米子市博労町2丁目) 昭和43年と平成27年に撮影

航空定点写真 上:昭和48年撮影、下:平成25年撮影 鳥取市街地



米子市街地



地上定点写真 左:昭和43年撮影、右:平成25年撮影(伯耆溝口駅前のみ平成15年撮影)



鳥取駅前



倉吉市白壁土蔵群



智頭駅前通り



三朝町中津集落



岩美町田後漁港



伯耆溝口駅前(伯耆町)



◆交通のご案内

- ◎JR鳥取駅からバスで
100円バス「くる梨(緑コース)」で「仁風閣・県立博物館」下車すぐ
- ループ麒麟獅子「②鳥取城跡」下車すぐ
- 砂丘、湖山、賀露方面行「西町」下車約400m
- 市内回り岩倉、中河原方面行「わらべ館前」下車約600m
- ◎JR鳥取駅からタクシーで…約10分
- ◎鳥取空港から…鳥取駅連絡バスで「西町」下車約400m
- ◎お車で…鳥取自動車道・鳥取ICより約15分

※当館駐車場21台駐車可能
(なるべく公共交通機関をご利用ください)